

議案第 79 号

平成 30 年度 嬉野市 水道事業会計補正予算（第 2 号）

（総 則）

第1条 平成 30 年度嬉野市水道事業会計の補正予算(第 2 号)は、次に定めるところによる。

（収益的収入及び支出）

第 2 条 平成 30 年度嬉野市水道事業会計予算（以下「予算」という。）第 3 条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（科 目）		（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
		収 入		
第 1 款	水道事業収益	598,401 千円	9,191 千円	607,592 千円
第 2 項	営業外収益	66,477 千円	9,191 千円	75,668 千円
		支 出		
第 1 款	水道事業費用	655,106 千円	104 千円	655,210 千円
第 1 項	営業費用	619,805 千円	104 千円	619,909 千円

（資本的収入及び支出）

第 3 条 予算第 4 条本文括弧書中「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 265,656 千円」を「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 266,418 千円」に、「過年度分損益勘定留保資金 244,300 千円」を「過年度分損益勘定留保資金 245,062 千円」に改め、資本的支出の予定額を次のとおり補正する。

（科 目）		（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
		支 出		
第 1 款	資本的支出	377,753 千円	762 千円	378,515 千円
第 2 項	営業設備費	239 千円	762 千円	1,001 千円

(たな卸資産の購入限度額)

第4条 予算第10条中「たな卸資産の購入限度額を5,862千円」を「たな卸資産の購入限度額を6,875千円」に改める。

平成30年9月3日提出

嬉野市長 村上大祐

理 由 地方公営企業法第24条の規定により、議会の議決が必要である。

平成30年度 嬉野市水道事業会計補正予算実施計画（第2号）

収益的収入及び支出  
収入

(単位：千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1	水道事業収益		598,401	9,191	607,592	
	2	営業外収益	66,477	9,191	75,668	
		3 上水道加入金	9,579	9,191	18,770	

支出

(単位：千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1	水道事業費用		655,106	104	655,210	
	1	営業費用	619,805	104	619,909	
		4 総係費	67,322	104	67,426	

## 資 本 的 収 入 及 び 支 出

## 支 出

(単位：千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1	資本的支出		377,753	762	378,515	
	2	営業設備費	239	762	1,001	
		1 上水道営業設備費	239	762	1,001	

平成30年度 嬉野市水道事業会計補正予算（第2号）資料

収 益 的 収 入

(款) 1 水道事業収益 (項) 2 営業外収益 (単位：千円)

目	補正前の額	補正額	計	節		説 明
				区 分	金 額	
3 上水道加入金	9,579	9,191	18,770	上水道加入金	9,191	加入金 18,770 - 9,579 = 9,191

収 益 的 支 出

(款) 1 水道事業費用 (項) 1 営業費用 (単位：千円)

目	補正前の額	補正額	計	節		説 明
				区 分	金 額	
4 総係費	67,322	104	67,426	使用料	104	事務機器 676 - 572 = 104

## 資 本 的 支 出

(款) 1 資本的支出

(項) 2 営業設備費

(単位：千円)

目	補正前の額	補正額	計	節		説 明
				区 分	金 額	
1 上水道営業設備費	239	762	1,001	メーター費	762	メーター費 1,001 - 239 = 762